

中学社会科における生徒の学習意欲を高める

ICT を活用した授業実践

教育実践高度化専攻 地域・教育課題解決コース

ICT 活用・科学ものづくり推進系

丸山 翔平

本研究の目的は、授業実践の中で、生徒の学習内容や学習そのものに対する意欲を向上させるために、どのような ICT の活用法がより有効なのか実践し、明らかにすることである。実践においては、実習校に設置されている大型モニターと生徒が 1 台ずつ所持している「Chrome book」を利用した。「Kahoot!」「Jam board」「Google map」といったツールを活用した社会科の授業を実践し、実践効果の分析には、「Google form」のアンケート機能などを利用した。

アンケート結果から、学習内容と ICT の活用との関連付けや ICT の活用以外における生徒の学習意欲を向上させる方法を絡ませることでより良い結果を得られたと考えられる。

生徒の学習意欲をより向上させるために、授業で学んだことを定着させることや生徒自身が主体的に学習内容を深める行動をとっていくことにつなげるような ICT の活用をおこない、それに関連する教師の技能を伸ばしていくことが今後の課題である。